

京葉会新聞

第10号

「令和八年を飛躍の年に!」



世話人代表 長嶋 良一

新年あけまして

おめでとございます。

京葉会会員の皆様お正月はいかがお過ごしでしょうか。この「京葉会新聞」も令和五年創刊以来今号で第十号を迎えました。今後も皆様からの寄稿や写真・俳句などをお寄せいただき魅力ある紙面を作っていきたいと思っています。



昨年『マチュリテイ123号』でも紹介していましたが、落語鑑賞会などを実施するとともに神奈川会とのボウリング大会、西東京会との合同イベント・月島もんじゃ焼きなどを企画実施しました。新年も世話人一同で楽しい企画を考えていきますので多数のご参加をお待ちしています。皆様からのイベントのご希望・要望等を世話人までどうぞお聞かせ下さい。また、他の地域会や同好会との共同企画を積極的に実施していければと思います。

皆様のご健勝をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。(写真は京葉会世話人大里様制作の俵馬)

尺八について (三)

菊田 宏



江戸後期には箏・三味線との合奏である三曲合奏が始まっていたが、その中大阪出身の中尾都山が都山流を創始した。中尾は西洋音楽の影響を受け、独自の

記譜法、教授法、合奏形式などを打ち出し、古典に加え「懐月調」を始めとして従来の古典尺八にはない新しい「都山流本曲」を次々と作曲した。また古典にはない合奏曲の本曲という新しい分野を開拓し、箏曲家・宮城道雄らと共に巡回演奏を行うなど新箏曲や新日本音楽の普及に貢献した。戦後、都山流は家元跡目を巡って紛争があり、昭和50年前後に分裂、現在は「都山流尺八楽会」

「日本尺八連盟」「新都山流」の3派が存在する。私はこの内の新都山流に属することになる。私はこの内の新都山流に属することになる。使用する尺八は普化尺八と同じで、基本音域は2オクターブ強である。1オクターブ目を乙、2オクターブ目を甲(カン)と言い、用いられる頻度は少ないが倍音の3オクターブ目を大甲という。単純な運指における5音を都山流ではそれぞれロ・ツ・レ・チ・ハと言い、メリ・カリという指使いで補うことにより西洋の12音階すべての演奏が可能である。また、合奏曲「春の海」などで使用される一尺六寸管や、二尺三寸管などもある。

(四)に続く。お楽しみに!

クロスワードクイズ



タテのカギ

ヨコのカギ

①3を英語で

②沖縄県庁所在地

③用事を頼まれる

④日差しが強く暑い天気

⑥江戸時代の初等教育

⑧イス、机、ダンスもこれ

①まっすぐな性格

⑤床屋さんのこと

⑦日本の武道の一つ

⑧農地に切り拓くこと

⑨毒のある高級魚

Aから順にできた単語は?

A

B

C

D



①	②	③		④
		A		C
⑤			⑥	テ
		⑦	カ	
	⑧			
		B		
⑨	グ			



京葉会主催イベントのお知らせ

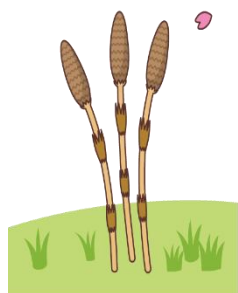
鳩山会館界隈の散策

江戸東京歴史散歩の会との合同企画として
実施します。お楽しみに！

★11/21 に開催予定だった東山魁夷記念館の
見学は日を改めて開催したいと思っています。

上記 2 件のイベントの日時
等は決まりましたら

HP・ニュースでお知らせ
いたします。



誰も彼も吾より若き花筵

始発バス待つ母と子の息白し

病窓の東京タワー冬の月

気配して振り返り見る落葉かな

俳句 遊子

文芸欄

モンゴル紀行

増田正子

モンゴルと言えば写真で見るイメージは冬は雪に覆われた厳寒、夏は高山植物が咲き乱れ豊かな草原、草原で寝転んで満天の星空を見る。来年の年賀状は馬に乗り草原を走る写真を撮りに、そんな気持ちで参加。（7月1日～5日）今回は旅行社のパッケージツアーでなく自分たちで計画するオプションツアー、楽しみも有り、心配も有る旅でした。吉川氏の友人、モンゴル人のトドウフさんが宿泊先の予約・ドライバー・ガイドとして協力してくださいました。モンゴルのトドさんの性格、疑問に思うことを尋ねると、大柄な大陸の性格、何でも大丈夫・大丈夫と言い続けているので、出来ないことは出来ないと言ってくださいと言っても相変わらず大丈夫の一言で終わってしまいます。でも普通では味わえない体験をさせてもらいました。宿泊先のゲルは当初（キャンプ地でのトイレ・シャワーは別棟）と聞いていましたが高級リゾート地のゲルは（トイレ・シャワー・冷暖房完備）快適なゲルでした。憧れだった乗馬は簡単そうに見えましたが、いざ馬にまたがってみると腰が安定せず、落馬したら皆に迷惑が掛かるのではとヒヤヒヤしながらの乗馬でした。天候が怪しくなり短い時間の乗馬でしたが撮れた写真をみると顔が引きつっていました。他の人たちは余裕で乗っているようでした。

食事のモンゴル料理は美味しく食べました。「ポーズ」蒸し餃子・小籠包に似ている・「ホーショル」小麦粉の皮で肉餡を包み揚げたもの「ゴルタイシエル」モンゴル風肉うどん。どれを食べても美味しかったです。モンゴルのトドさんのゲルでのおもてなし料理は「ホルホグ」羊の肉と熱した石・野菜と一緒に煮込む料理でした。4泊5日のモンゴル旅は、お腹を壊さず、薬のお世話にもならず、楽しい旅ができました。

バヤルラー、サイハンバイサン（モンゴル語で有難うございました。素晴らしかったです。）

発行元 京葉会

発行責任者 長嶋良一

連絡先 080-1082-5598

メール step0214jp@yahoo.co.jp

★メールアドレス未登録の方は上記連絡先か
上記のメルアドにご連絡お願い致します。

（QRコードの会員登録からも登録可能です）

